

<議事要旨>

(1) 開会

大阪府 雇用推進室長

- ・平成 29 年度も終盤にさしかかった。今年 5 月には「大阪人材確保推進会議」の開催予定。平成 30 年度も実施計画の発表を考えている。
- ・皆様から連携提案はじめ、意見交換を行い、平成 30 年度の取組をさらによいものに進化していけたらと考えているのでよろしく。

(2) 大阪人材確保推進会議構成員の新規加入について

- ・新規加入を希望する 2 団体について資料に基づき説明
- ・1 団体目は建設業の業界団体である「一般社団法人大阪電業協会」で、大阪府住宅まちづくり部建築振興課からの推薦。
- ・2 団体目は運輸業の業界団体である「一般社団法人大阪バス協会」で、近畿運輸局からの推薦。
- ・新規加入について各団体・機関異論なし。

(3) 大阪人材確保推進会議設置要綱の一部改正について

- ・一部改正事項について資料に基づき説明
- ・設置要綱第 2 条の所管業務に「業界等の生産性の向上に関する事項」と「業界等の健康経営に関する事項」を追加するもの。
- ・「生産性向上」については、労働人口が減少する中、働き方改革推進の重要性とともに、AI や IoT 等を活用した生産性の向上への取組が必要と考えられるため追加。
- ・「健康経営」については、従業員の健康づくりに取り組むことは、企業の生き残りのためには、重要な戦略であると考えられるため追加。
- ・設置要綱一部改正について各団体・機関異論なし。

(4) 平成 29 年度実績及び平成 30 年度取組について

各団体・機関より標記について、資料に基づき説明後、意見交換。

<主な発言>

大阪府ものづくり振興協会：

- ・働く環境整備の一環として、建築基準法を正しく理解し、適法に建築物及びその敷地の維持管理を行うための企業啓発セミナーを開催した。
- ・関西ダイカスト工業組合との共催イベントであるダイカスト業界見学会を平成 30 年 3 月 28 日に開催予定。概ね 34 歳以下の求職者から 8 名の予約がある。
(事務局補足：イベント当日は 8 名全員参加のもと、寿ダイカスト工業株式会社を見学した。)

- ・ **30** 年度も、就業促進課と連携しながら業界のイメージアップ、雇用促進に取り組んでいく。

(公社) 大阪府工業協会 :

- ・ 大阪府工業技術大学は昭和 **35** 年から実施していて、来年度 **58** 期を迎える。中小企業の新入社員に技術力をつけることでスキルアップを図り、ものづくりに魅力を感じることで、辞めない、辞めさせないようにすることを目的としている。**29** 年度は **44** 名の参加があり、**30** 年度も **48** 名申込がある。
- ・ **29** 年度の新たな取組みとして、製造業の若手が定着する方法を考える「人材活性化フォーラム」を開催した。中小企業の経営者や製造業の人事担当者にご登壇いただき、人材確保や定着の工夫などを話してもらっている。
- ・ **29** 年度は **90** 名参加があった。**30** 年度は **8** 月頃の実施を計画している。

商工労働部中小企業支援室ものづくり支援課 :

- ・ **29** 年度は生産性向上という観点から、中小企業へ **IoT** 導入を後押しする取り組みを実施。満足度も高かった。
- ・ **MOBIO** カフェとして、コストダウン手法や設備改善などのテーマでセミナーを開催
- ・ **30** 年度は **29** 年度の事業を継続していく。

大阪府総合労働事務所 :

- ・ 働きやすい、働き続けられる職場環境づくりを通じた業界のイメージアップにより、人材の確保や定着に繋げるという観点から企業への啓発セミナーや相談会を実施した。
- ・ **30** 年度も製造業のニーズや課題に対応したセミナーや相談会を実施していきたいので、業界団体には協力をお願いしたい。

大阪労働局職業安定部職業安定課 :

- ・ 平成 **30** 年 **3** 月 **8** 日に、大阪労働局・大阪新卒応援ハローワーク・大阪わかものハローワーク・大阪外国人雇用サービスセンター主催で「世界一日本一合同企業説明会」を開催した。
- ・ 中小企業でも世界一・日本一の技術やシェアを持っているということを **PR** したところ、参加者からは「こんな会社があったとは知らなかった」という声が多数あった。
- ・ **30** 年度も継続して実施していきたい。

商工労働部雇用推進室人材育成課：

- ・大学生を対象にしたインターンシップについて、夏と春と合わせて **19 社・26 名**に参加いただいた。
- ・大学3年生になるとどうしても大手志向になり、中小企業に目が向かない状態になる
- ・今回、実際に現場を見て代表者や従業員と関わっていただいた結果、参加者からは「就業観が変わった」という声も聞かれた。
- ・来年度に向けて取組みを広げていきたいので、業界団体には企業の紹介などご協力いただきたい。

商工労働部雇用推進室就業促進課：

- ・ **OSAKA** しごとフィールドにおいて就職支援を実施した結果、就職者数 **190 人**の目標に対して、**347 人**が製造・運輸・建設業界に就職決定した。
- ・ **29 年度**までは **100 人**に満たない就職者であったため、活動の効果はあったと認識している。
- ・企業の職場環境改善のためのプログラム（ワークアップ計画）について、**29 年 8 月**から **3 月**まで実施した。
- ・最後まで修了された企業は「※大阪人材確保推進会議 **E**（イー）カンパニー（仮称）」として認証し、大阪府のホームページ等で積極的に発信していく。
（※「大阪人材確保推進会議 **E**（イー）カンパニー（仮称）」：人材確保のため、業界の常識等にとらわれず女性・若者に魅力ある職場づくりと情報発信・着信に取り組む良い（イー）企業。「**E**」は **Eager**（熱心な）、**Excited**（ワクワクする）、**Excellent**（優れた）の頭文字が由来。）
- ・**30 年度**は、より多くの企業に参加していただけるよう2クールでの開催を検討している。

（5）その他（説明：事務局）

- ・次回の大阪人材確保推進会議は5月を予定している。